

**広島県 CALS/EC 連絡協議会 第 12 回電子納品分科会**  
**(土木・農林部門) 議事録**

日時：平成 20 年 3 月 18 日(火) 14:00～15:15

場所：広島県立総合体育館 小会議室(広島市中区基町 4 番 1 号)

**1 平成 19 年度電子納品成果及びアンケート結果について**

**土木部関係**

(事務局)

(1) 電子納品の実施件数

- ・ 今年度電子納品実施件数は 270 件です。昨年度より若干件数が減っています。

(2) 成果品(CD)の集約数

- ・ 3 月 10 日現在, 成果品(CD)の集約数は 17 件です。3 月末の工期が多いため, まだ集まっていません。

(3) アンケート集約数

- ・ 3 月 10 日現在, アンケートの集約数は発注者 14 件, 受注者 19 件です。これも 3 月末の工期が多いため, まだ集まっていません。

(4) 平成 19 年度の成果品 CD のチェック結果

- ・ 各発注機関へ提出(土木関係三部)された CD についてエラーチェックをしたところ, 業務委託の「エラーなし」が今年度 87.5%, 昨年度は 57%でした。平成 19 年 5 月から電子納品チェックツールをホームページで公開し, 受発注者双方同じチェックツールを使用した事からソフトの違いによるエラーがなくなり, エラーのある電子納品が大幅に減りました。
- ・ ただし, チェックツール上のエラーではありませんが, CD-R のルート上に電子納品ファイルがなく, DISK1 フォルダの中に電子納品ファイルが保存されているケースが 2 件ありました。

(5) アンケート結果から見る問題点

- ・ 着手前事前協議について, 昨年度実施率 65%でしたが, 今年度は 88%に向上しました。
- ・ ウィルス対策は以前に比べてよくなっていますが, まだ対策が悪い業者があります。

(6) アンケート結果による電子納品の今後の進め方

- ・ 積極的及び現行のまま取り組みを進めるべき項目の一番多かった意見は, 「国の基準・要領等への準拠(県ルールの削除)」でした。また「PDF 提出可能書類の拡充」の意見がありました。国の基準では工事書類に PDF も認めるという改正案が出されており, 今後このような流れになっていくものと思われます。
- ・ 取り組みを回避すべき項目として, CAD ファイルの「SXF と他の主要な CAD ファイル形式との二重納品」, 「CAD 製図基準(案)等への適合検査の厳格化」の意見がありました。
- ・ 「押印書類のスキャン電子化」の意見は, 取り組みを進めるべき項目と, 取り組みを回避すべき項目両方に, ほぼ同数の意見があり分かれています。
- ・ 自由意見として, 「ファイル命名がわかりにくい」, 「検査用高性能ノートパソコンが必要」, 「業務完了検査は紙ベースの実施」, 「発注者のスキル向上」等がありました。

**農林水産部関係**

(事務局)

(1) 電子納品の実施件数

- ・ 今年度電子納品実施件数は 60 件です。昨年度は 49 件でしたので, 若干件数が増えています。

(2) 成果品(CD)の集約数

- ・ 成果品(CD)の集約率は, ほぼ 4 割です。

(3) アンケート集約数

- ・ アンケートの集約率は, ほぼ 4 割です。

(4) 平成 19 年度の成果品 CD のチェック結果

- ・ 管理ファイルの適合率は今年度 63.6%でした。チェックは ISMS を使用して行いました。ISMS 自体はエラーなしという結果でしたが個々に記載項目を見てみますと, 記載内容の

誤りや、境界座標の数値未入力が確認されました。

- ・ 透明ケース、薄型ケースの使用、ラベル標記内容等、成果品(CD-R)の仕様不適合 36.4% ありました。
- ・ 業務委託の CAD 図面の適合率は、昨年度 21.4%から今年度 63.6%とかなり改善されました。
- ・ 建設工事のデジタル写真の有孔画素数が 100 万画素未満のものがありました。

#### (5) アンケート結果から見る問題点

- ・ 業務委託に比べ建設工事では、ウィルスチェックの対策頻度が低い傾向があります。
- ・ CAD データについて、SXF ブラウザで確認行為をしていない案件がありました。

#### (6) アンケート結果による電子納品の今後の進め方

- ・ 今後の進め方について、土木部の意見とほぼ同じ意見が出されています。
- ・ 積極的及び現行のまま取り組みを進めるべき項目で、情報共有等システムの導入の意見が多くありました。
- ・ 自由意見として、「広島県インターネットセキュリティが厳しいため、大容量のファイルが送れない」、「CAD 図面作成要領(案)を使用した場合、二重にチェックをしなければならぬため、ミスを生じさせるのではないか」等がありました。
- ・ 平成 20 年度の電子納品実施要領から、林道事業の CAD の基準を、国土交通省の CAD 製図基準(案)に変更します。

## 2 平成 20 年度の電子納品の実施について

(事務局)

### (1) 要旨

- ・ 広島県電子納品実施要領を制定するとともに、引き続き電子納品対象案件の拡大を行います。
- ・ 電子納品保管管理等システムの調達・開発を行います。
- ・ 情報共有等システムの実証実験を拡大して行います。
- ・ 平成 21 年度以降の実施計画を制定・公表します。

### (2) 平成 20 年度の具体的実施内容

- ・ 平成 19 年度の検証結果等を踏まえ、既存の電子納品実施要領(7 編)を改訂します。
- ・ 電子納品事前登録を継続し、随時受け付けます。
- ・ 電子納品は平成 16 年度から土木部、平成 17 年度から農林水産部、平成 18 年度から建築営繕、今年度から電気通信・機械設備が取り組みを始めています。
- ・ 電子納品対象案件は、年々拡大していましたが、今年度は対象案件を金額ベースにした関係で、若干対象案件が減っています。
- ・ 平成 20 年度の電子納品対象案件は、業務委託、設計金額 300 万円以上、工事、設計金額 5,000 万円以上対象とします。また前のプロセスが電子納品であった場合は、金額によらず原則電子納品対象とします。
- ・ 電子納品保管管理等システムの調達・開発を行い、平成 21 年度より運用を開始します。
- ・ 情報共有等システムの実証実験を今年度は 7 事務所 8 案件行いましたが、来年度は、全土木事務所数件程度、及び農林水産部でも数件程度実証実験を行っていきたいと考えています。
- ・ 土木 3 部では昨年度に引き続き、電子閲覧の部分実施を拡大します。業務委託は設計金額 500 万円以上、工事は設計金額 5,000 万円以上(ただし、図面が電子データであるもの)来年度は金額によらずとも発注担当者 1 人 1 案件以上実施します。

### (3) 平成 21 年度以降の電子納品実施計画(案)

- ・ 業務委託 平成 21 年度以降原則全件実施
- ・ 建設工事 平成 21 年度設計金額 2,500 万円以上、平成 22 年度設計金額 1,000 万円以上
- ・ 建築設計 平成 21 年度設計金額 300 万円以上、平成 22 年度設計金額 200 万円以上
- ・ 営繕工事 平成 21 年度設計金額 3,500 万円以上、平成 22 年度設計金額 2,500 万円以上
- ・ 前のプロセスが電子納品であった場合は、金額によらず原則電子納品対象とします。
- ・ 発注者から電子納品の申し出があり、受発注者双方の合意が整った場合、電子納品の対象とします。

#### (4) 平成 20 年度における普及啓発その他周知方法

- ・ 各種講習会の機会を捉え、説明会等を行うとともに、広島県 CALS/EC ホームページ、業界紙及び業界関係団体の長への通知等による情報提供を行っていきます。また受注者向けの研修は、普及促進支援団体である財団法人広島県建設技術センターが行う予定です。

#### (5) 電子納品事前登録について

- ・ 平成 17 年 7 月から受付を開始している電子納品事前登録を継続し、随時受け付けを行います。工事の入札については、平成 19 年 10 月より 1 千万以上は一般競争入札を導入したことから、電子納品対象案件工事で一般競争入札の場合、公告等に「電子納品対象案件」を明示し、電子納品事前登録の有無は問わないこととします。
- ・ コンサルタントの指名は従来どおり指名で行います。

### **3 広島県電子納品実施要領の改訂について**

(事務局)

#### (1) 要旨

- ・ 平成 19 年度の電子納品実施結果を踏まえて、「広島県電子納品実施要領」を改訂します。

#### (2) 広島県電子納品実施要領の改訂概要

- ・ 今年度、国土交通省等の要領・基準・ガイドラインに改定等がなかったことから、平成 19 年度の電子納品の実施結果等を踏まえ、受発注者の理解促進等を図るための記載の変更、追加等を行いました。基本的な運用に関しては、特段の改定は行いませんでした。
- ・ 主な改定内容は次のとおりです。
- ・ PDF バージョンは Acrobat5.0 を基本とします。(改定)
- ・ SFC のバージョンは Ver2.0、レベル 2 とします。(追加)
- ・ ファイルの作成を行う上でワード等に画像を貼り付ける際の留意事項を記載しました。(追加)
- ・ 測量成果の PDF 等は SURVEY フォルダに格納します。(改定：準拠)
- ・ 林道事業で使用する CAD ファイルの基準を CAD 製図基準(案)に変更しました。(改定)
- ・ CAD ファイルの履歴管理の具体例を記載しました。(改定)
- ・ 電子媒体の納品部数は 3 部(正、副 2)にしました。(改定)
- ・ 電子成果品の確認方法を記載しました。(追加)
- ・ 管理項目 - 設計書コード - 工事番号：ハイフン(-)の記入を取りやめました。(改定)
- ・ 着手前協議チェックシート等をより実務に沿った内容に見直しをしました。(改定)

#### (3) 業務委託編

- ・ 事前にお配りした当初の改定(案)では、業務委託編 P13 シ(ウ)「報告書ファイル作成で使用する写真(JPEG)は、PHOTO フォルダに格納しているファイルをコピーして使用すること。」と広島県ローカルルールとして改定する予定でした。しかし、分科会構成員様から、国でも行っておらず、やり過ぎでないか、業者の負担になる等の意見を受け削除する事にしました。

#### (4) 工事編

- ・ 工事についても P13 シ(ウ)「報告書ファイル作成で使用する写真(JPEG)は、PHOTO フォルダに格納しているファイルをコピーして使用すること。」業務委託編と同じ理由で削除する事にしました。

#### (5) 国の要領改訂について

- ・ 平成 20 年 3 月 6 日付で国の要領「土木設計業務等の電子納品要領(案)」「工事完成図書の電子納品要領(案)」「デジタル写真管理情報基準(案)」の改訂についてパブリックコメントが出ております。改定内容は、それほど大きな改定ではありませんが、来年度広島県電子納品実施要領改訂に伴い、検討が必要となります。
- ・ また、昨年(平成 19 年)11 月 19 日にも「CAD 製図基準(案)」のパブリックコメントが出ています。今回の要領改訂には掲載しませんでした。新しい CAD 製図基準(案)に改定した場合、広島県では、「本要領で対象とする SXF(SFC)形式のバージョンとレベルは、Ver2.0、レベル 2 とする。ただし、請負・発注者間の協議により SXF Ver3.0、レベル 2 以上で納品することを妨げない。SXF Ver3.0、レベル 2 以上で CAD データを作成する場合、CAD 製図基準(案)に従い作成すること。」を記述する予定です。

- ・ 国の改定に伴う広島県の電子納品実施要領への反映は、国の実施状況と、広島県の電子納品チェックソフト及び CAD チェックソフトのバージョンアップ等鑑み、検討したいと思っています。

#### 4 質問・回答

質問 1 アンケートの集約数が対象案件に比べて少ないのは、業務が完了していないからですか。

回答 1 工期が 3 月末が多いために、今回の会議ではこのような結果になっています。

質問 2 電子納品実施要領等の改訂に伴う各業界団体への周知はどのように行っていますか。

回答 2 最新の情報は広島県 CALS/EC ホームページに掲載しております。業務を行う前には、広島県 CALS/EC ホームページを確認してください。

質問 3 広島県の電子納品実施要領は国準拠ですか。

回答 3 99%国準拠で行っています。一部広島県事務の都合上ローカルルールを採用しています。

質問 4 市町の CALS/EC(電子納品)への取り組みはどう行っていますか。

回答 4 昨年度から年 1 回、市町の電子納品担当者を対象とした「電子納品連絡会議」を開催しています。この会議で進捗状況や問題点等、情報提供を行っています。

意見 5 発注の担当者と工事検査監のスキルの向上と、また個々に見解の相違がないよう共通認識を持って取り組みをしていただきたい。

回答 5 毎年、担当者と、工事検査監に電子納品の取り組みについて、周知徹底と共通認識を持つよう研修を行っております。もしご不明な点がございましたら、技術指導室 IT 推進グループまでご連絡ください。

#### 5 その他

今後の予定といたしまして、今回分科会でご了承いただいた内容につきましては平成 20 年 3 月 26 日(水)の CALS/EC 連絡協議会に諮ります。